

第一飛行團ハ隨時軍ノ作戰ニ協力ス
 軍ト北支那方面軍及第十一軍トノ作戰地
 境左ノ如シ 線上ハ軍ニ屬ス

第十三軍、北支那方面軍間

山東、河南兩省ト江蘇、安徽兩省

トノ境界線

第十三軍、第十一軍間

三河尖、葉家集、天望山、宿松、八里
 江及湖口ヨリ星子附近ニ至ル鄱陽
 湖水道中央ヲ連ヌル線

二軍ハ概テ黄河氾水地域、廬州、蕪湖、
 杭州ノ線以東ノ地域及甯波附近ヲ確
 保安定シ特ニ先ツ上海南京杭州間ノ
 地域ノ迅速ナル治安恢復ヲ圖リ且

對敵壓迫ニ努ムルト共ニ海軍ト協同
 シテ揚子江下流ノ交通ヲ確保セントス
 軍隊區分(十七號作戰關係ノモノヲ除
 ク)別紙ノ如シ

三、第十五、第二十二兩師團及獨立混成第
 十一、第十二、第十三、第二十各旅團並上
 海警備隊ハ夫々其作戰地域ヲ確保

安定スベシ

四、第十七師團ハ其作戰地域ヲ確保安定
スベシ

之ガ爲治安警備ニ關シテハ當分ノ間
概ネ現態勢ヲ保持シ特ニ北支那方
面軍ト密ニ協カスベシ 又政務ニ關シ
テハ直接支那派遣軍總司令官ノ指揮

ヲ受ケ其實施ハ別冊「北中支接壤地
 帯處理要綱」ニ據ルモノトス

又輸送及警備ニ關シテハ第一水路輸
 送司令部濟南支部ノ新浦鎮及運河
 出張所ヲ區處スベシ

五、第百十六師團ハ萩港(含マズ)湖口間
 ノ江岸要地ヲ確保シ海軍ト協同シ

テ其作戰地域ニ於ケル揚子江ノ交通ヲ
確保スベシ

六、各師團及各獨立混成旅團、上海警戒備
隊間ノ作戰地域ヲ別紙要圖ノ如ク定
ム（線上ハ南方及東方兵團ニ屬ス）
但シ清郷地域ハ予ノ直轄トシ其工作
地域ハ從來示セル所ニ據ルモノトス

七、清郷參加各部隊ハ國民政府ノ高度育成強化並對敵政略攻勢、爲依然清郷工作ヲ繼續スベシ

八、防衛ニ關シテハ左記ニ據ルベシ

ノ指彈隸屬ノ系統ヲ異ニスル部隊同一地ニ駐屯若クハ宿營スル場合ノ防衛ハ登集作命甲第三百七十五號ニ據ル

モノトス

2. 南京地區、防衛ハ登集作命甲第三百七十六號、上海地區ノ防衛ハ登集作命甲第三百七十七號ニ據ルモノトス
3. 各師團長及各獨立混成旅團長、上海警備隊司令官ハ警備ニ關シ其作戰地域内ニ在ル憲兵ヲ區處ス

ハ

此ノ際特ニ軍隊及憲兵ノ協力ヲ密
 接ナラシムルヲ要ス

4. 前項指揮官ハ其作戰地域内ニ於
 ケル第一飛行團長隸下及指揮下部
 隊並軍用飛行場ノ警備ヲ擔任ス
 ルモノトス

5. 中支那野戰各補給廠(支部)及出張所

等ヲ含ム及兵站宿舍ノ警備等ニ
 關シテハ登集作命甲第四百三十七號
 ニ據ルモノトス

九各師團及各獨立混成旅團、上海警備隊ハ
 前記ノ外左記諸項ニ準據シ對敵壓迫
 茲我ガ戦力ノ培養ニ努ムベシ
 ノ國民政府ノ育成強化

從來示セル所ニ基キ政治力ノ滲透擴
充及治安機構ノ強化並ニ經濟力ノ充實
ニ努ムルモトス

2. 對敵封鎖ハ登集作命甲第三百八十七
號ニ據リ依然繼續強化スルモト
ス(上海周邊ノ對敵封鎖ハ上海憲兵
隊ノ擔任トス)

但シ錢塘江南岸地區及甯波附近ノ對
敵封鎖ハ登集作命甲第三百五十二
號ニ據ル

對敵宣傳攻勢ハ登集作命乙第一
號ニ準據スルノ外 對米英開戦ニ
伴フ宣傳計畫ニ基キ更ニ之ヲ強
化擴充スルモノトス

大、軍事調査等ニ關シテハ從來示ス所ニ據ル

五、我が戦力培養ニ關シテハ消費節約並現地自治及重要資源ノ開發取得

輸送ニ努ムルモノトス

十、第十三軍通信隊ハ軍作戦地域内ノ軍通信線(徐州—韓庄、徐州—楊集間)

ノ電信送電送電話各一系ヲ除クヲ主管
シ左記任務ニ服スベシ

軍通信線ノ保守ニ關シテハ徐州―韓庄
及徐州―楊集間ハ北支那方面軍ノ擔任
トシ又華中電氣通信株式會社ヲシテ擔
任セシムル保守區間故ノ如シ

ノ軍司令部ト大本營トノ通信連絡

(交信ニ關シテハ大本營陸軍通信隊長
ノ區處ヲ受ケシム)

2. 軍司令部ト支那派遣軍總司令部並兩司
令部ト其隸下、指揮下各部隊トノ通
信連絡

(第一電信隊ノ擔任ヲ除キ南京合同通
信所勤務ニ關シテハ第一電信隊長

ノ區處ヲ受ケシム

3. 軍作戦地域内ト内地間ノ聯送電報ノ處理

4. 上海ト南京及杭州トノ航空用通信連

絡

5. 一部ヲ以テ敵性放送ノ妨害

(妨害ニ關シテハ支那派遣軍報道部

放送班長、區處ヲ受ケシム

一部ヲ以テ清郷工作ノ通信連絡

ノ所要ニ應ジ各兵團ニ對スル通信

技術ノ教育及指導等並器材ノ修理後

助

ノ所要ニ應ジ軍通信線ノ保守及中國

側官廳用電話線建設ニ關シ筆中

電氣通信株式會社ノ現地指導援助

十六、自動車第二十九聯隊ハ隨時各種ノ輸送

ニ應ジ得ル如ク戦力向上ニ努ムベシ

十七、軍作戦地域内ニ於ケル軍事鐵道輸送

等ノ處理ハ左記ニ據ルベシ

一、第二鐵道輸送司令官ハ登集作命甲

第四百二十五號ニ準據シ前任務ヲ續

10

行スルモノトス

但シ第二野戦鐵道司令官ノ擔任スルモノヲ除ク

2. 第二野戦鐵道司令官ハ利國以南ノ津浦線(支線ヲ含ム)車轡山以南ノ臨趙線、楊集以東ノ龍海線(支線ヲ含ム)ノ鐵道警務及當軍軍事輸送ヲ處

理スルモノトス

其第十五第百十六師團長及獨立混成第二十
旅團長ハ自今作戰上必要ナル場合左記
範圍ニ於テ各々其警備地域内ニ在ル中
支那船舶隊長指揮下船舶部隊一部ヲ
臨機指揮スルコトヲ得

小戦闘及小輸送ノ爲碇泊場司令部本
〃

然、業務ニ支障ヲ及ボサザル範圍
ニ於テ碇泊場司令部ノ人員及所屬舟
艇ノ一部ヲ概テ十日以内ノ期間ニ限り
使用セントスル場合

海軍直轄各陸軍病院ハ別ニ示ス所ニ據
リ患者ノ收療後送ニ任ズベシ

其由支那防疫給水部第一支部ハ野戰防疫

部ノ任務、外上海周邊地區ニ於ケル特
 種防疫及軍隊検査ニ任ズルト共ニ中
 支那船舶隊及海軍ト協同シ上海海
 關ノ實施スル検査ヲ援助スベシ
 防疫給水業務ノ専門事項茲特種資材
 ノ調辦補給ニ關シテハ中支那防疫給水
 部長ノ區處ヲ受クベシ

其中支那野戰補充馬廠嘉興支廠ハ登集
 作命甲第三百七十八號ニ據リ依然前任
 務ヲ續行スベシ

七、兵站業務ノ處理ニ關シテハ左記ニ據ルベシ
 一、各師團及各獨立混成旅團、上海警備
 隊ハ依然其作戰地域内ニ於ケル隸下
 及指揮下以外ノ部隊ニ對スル兵站業務

務ヲ擔任スルモノトス

但シ補給業務ニ關シテハ由支那野戰
各補給廠(支廠及出張所ヲ含ム)所在
地外ニ在ル部隊ニ對スル常續補給

ノミトス

2、上海及南京ニ於テ軍ノ擔任スル兵站
業務ハ登集作命丙第六十六、第二百

十五號ニ據ルモノトス

三、在南京支那派遣軍直轄部隊ノ病馬
 收療及裝蹄援助並同地通過部隊ノ
 病馬救護ハ登集作命丙第十四號

ニ據ルモノトス

六、上海特務機關ハ上海警備隊作戰地域
 内ノ政務經濟文教關係事項ヲ處理ス

ベシ

但シ治安ニ關シテハ密ニ上海警備隊ト
 連繫スベシ

先前諸項中任務ノ繼承轉換迄指揮轉
 移ノ時機ハ昭和十七年一月一日零時トス
 示予ハ上海ニ在リ

軍司令官 澤田 茂

下達法
印刷交付

配布先

參本、總軍、甲、乙、呂、波、仁集團

隸下指揮下各師旅團、各部隊

第一飛行團、中支船舶隊、中支所給

中支憲、上憲、

特本、上特、最高軍顧

別紙

軍隊區分

(十七號作戰關係ノモノヲ除ク)

一、第十五師團

缺如部隊

歩兵第五十一聯隊ノ集成大隊(約二中队)

歩兵第六十七聯隊

工兵第十五聯隊ノ一中隊

配屬部隊

獨立混成第二聯隊

高射砲第十六聯隊〔第一中隊第二小隊〔第五中隊欠〕欠〕

高射砲第二十一聯隊

第五十兵站警備隊〔約五小隊欠〕

第七師團第二建築輸卒隊〔二分隊上〔延欠〕

南京第二陸軍病院

(同)

蕪湖分院)

鎮江陸軍病院(泰縣分院欠)

中支那防疫給水部第四支部(廬州出張所欠)

南京特務機關

六 第十七師團

配屬部隊

自動車第二十六聯隊ノ一中隊

徐州陸軍病院

北支那防疫給水部濟南支那徐州出張所

蘇北特務機關

海州特務機關

支那派遣軍ヨリ
直接配屬セラル

三、第二十二師團

配屬部隊

第七師團第二建築輸卒隊ノ二班

杭州陸軍病院

中支那防疫給水部第三支部

杭州特務機關

第六百廿六師團

缺如部隊

步兵第五九聯隊第一大隊

步兵第百三十三聯隊

步兵第百三十八聯隊

ノ集成大隊

第一野戰病院(半部隊)

配屬部隊

迫撃第四大隊ノ一中隊

自動車第二十九聯隊第三中隊(一小隊欠)

第七師團第二建築輸卒隊ノ一分隊

中支那防疫給水部第五支部

安慶特務機關

五獨立混成第十(旅團)

缺如部隊

清郷參加中、歩兵約三大隊

同 直轄部隊、一部

配屬部隊

迫撃第四大隊(一中隊欠)

自動車第二十九聯隊第四中隊(一小隊欠)

4

中支那防疫給水部第二支部(泰縣南通出張所欠)

蘇州特務機關(清鄉特務機關欠)

六、獨立混成第十二旅團

配屬部隊

自動車第三九聯隊第一中隊(一隊欠)

第七師團第二建築驗卒隊(一分隊(三班欠))

鎮江陸軍病院泰縣分院

上海第二陸軍病院南通分院

中支那防疫給水部第二支部泰縣出張所

同

南通出張所

泰縣特務機關

七、獨立混成第十三旅團

配屬部隊

自動車第二十九聯隊第二中隊（一小隊欠）

夕

廬州陸軍病院

(同)

蚌埠分院)

中支那防疫給水部第四支部廬州出張所

蚌埠特務機關

八上海敬言備隊

司令官 獨立混成第十七旅團長 田上少將

獨立混成第十七旅團獨立步兵第九一大隊(中隊迄)

九、獨立混成第二十旅團

配屬部隊

第五十兵站警備隊、約五小隊

自動車第二十九聯隊、約二小隊

高射砲第十六聯隊第一中隊、第二大隊（第五中隊欠）

獨立輕裝甲車第八中隊

步兵第五十一聯隊、集成大隊（約二中隊）

歩兵第百九聯隊第一大隊

第十三軍通信隊ノ無線一小隊

第七師團第二建築隊卒隊ノ二班

第百十六師團第一野戰病院(半部欠)

中支那防疫給水部第一支部(南波出張所)

南波憲兵派遣隊

南波特務機關

七 清郷參加部隊 (中國側ノモノヲ省略ス)

中山部隊

長 獨立歩兵第九十一大隊長 中山大佐

獨立歩兵第九十一大隊 (一中隊欠)

清郷工作防疫給水隊ノ一部

堤部隊

長 獨立混成第十一旅團長 堤少將

7

獨立混成第十一旅團ノ歩兵約三大隊

同

直轄部隊ノ一部

清郷工作防疫給水隊ノ一部

柳澤部隊

長 歩兵第六十七聯隊長 柳澤大佐

歩兵第六十七聯隊第二大隊(欠)

二兵第十五聯隊ノ一小隊

自動車第二十九聯隊ノ一小隊(三分隊欠)

清郷工作防疫給水隊ノ一部

清郷軍直轄部隊

軍清郷工作司令部

清郷工作防疫給水隊ノ本部ト一部

重藤機關(中國側保安隊警察指導機關)

清郷特務機關

8

六軍直轄部隊

第十三軍通信隊(無線) (無線) (電信)

第十聯隊及第一電信隊(有線) 各

(一中隊屬)

自動車第二十九聯隊本部材料廠ト約二

小隊

第二鐵道輸送司令部

上海第一陸軍病院

同 第二陸軍病院（南通分院欠）

南市陸軍病院

蘇州陸軍病院

（同 嘉興分院）

（同 無錫分院）

中支那防疫給水部第一支部（甯波出張所欠）

0520

中支那野戦補充馬廠嘉興支廠
上海特務機關

極秘

登集作命甲第四百五十四號別冊

北、中支接壤地帯處理要綱

第一方 針

昭一六、一、二、一、一〇
支那派遣軍總司令部
登集團司令部 寫

北、中支接壤地帯中北支方面軍作戰地域内北部河南省ハ當分ノ間現状ノ儘トシ徐海道及淮北地區ハ之ヲ昭和十七年初頭北支ヨリ分離シ國民政府直轄地域ニ轉移ス

之カ爲準備ヲ進メ其完了セルモノヨリ逐次之ヲ實行ニ移ス

其轉移ノ細部ニ就テハ別ニ定ム

本施策ニ方リテハ特ニ人心ノ不安動搖ヲ招來セザル如ク善處ス

轉移ノ時期ハ別ニ定ム

0521

第二 要 領

一 軍 事

別ニ定ム

二 政 務

(イ) 徐海道並淮北地區ハ差當ク國民政府直轄ノ特殊地域トシ其支那側政

務ハ蘇北行政專員公署（假稱）之ヲ行フ

蘇北行政專員ハ國民政府行政院長ニ隸ス

國民黨ノ進出ハ支那側施策ニ委ス

(ロ) 徐州兵團長ハ徐海道並淮北地區ノ支那側政務ノ内面指導ニ關シ總司

令官ノ指揮ヲ受ケ特務機關長ヲシテ之ヲ實施セシム

(ハ) 蘇北特務機關及海州特務機關ハ依然之ヲ徐州兵團長ニ配屬シ從來ノ

0522

任務ヲ續行セシメ登集團特務機關本部長ノ指揮ヲ受クル事ナシ

(二) 徐海道並淮北地區ニ於ケル經濟問題ノ處理ヲ圓滑容易ナラシムル爲
總軍、北支軍、現地軍關係者ノ連絡ヲ緊急ナラシムル措置ヲ講ス

(細部ニ關シテハ別ニ計畫ス)

經濟指導ノ爲徐海道、淮北地區ハ北支側ノ擔當トス

右現場處理ハ北、中支側ヨリ總軍ヲ經由シ特務機關之ニ當ルモノト

ス

三 財 政

(イ) 徐海道政費ハ從來徐海道政務費トシテ國民政府豫算ニ計上シアリシ
モノヲ蘇北行政專員公署ノ行政補助費トシテ支出ス之カ爲蓋當リ北
支ヨリ中央稅ヲ以テ之ニ充當ス

(ロ) 淮南地區ノ政費ハ徐海道政費ト共ニ一括シテ蘇北行政專員公署ノ行政補助費ニ包含セシム

四 治安

(イ) 綏靖軍ハ之ヲ現状ノ儘軍事委員會ニ隸屬ス

(ロ) 警察隊自衛團等地方治安機關ノ組織系統ハ差當リ現状ノ儘之ヲ繼續ス

(ハ) 治安費ハ所要額ヲ行政專員公署財政豫算中ニ經常費トシテ計上ス

五 教育

(イ) 教育組織並監督系統ハ現状ノ儘之ヲ繼承ス

(ロ) 教科書ハ成ル可ク速カニ國民政府制定ノモノニ變換スル如ク措置ス

六 社會施設、社會團體

國民政府ノ施策ニ委スルモノトシ其施策ニ支障ナキモノハ其存續ヲ妨

ク
ス

七 思想

新民會ノ省總會、道辦事處、特殊地區辦事處等ハ之ヲ徹收スルモ支那側ノ施策スル東亞聯盟組織ニ吸收シ得ルモノハ之ヲ吸收ス

八 交通、通信

(イ) 鐵道ハ將來其本格的處理ヲ行フ迄現狀ノ儘之ヲ繼續シ以テ我カ軍事

輸送竝對日供給物資輸送ノ圓滑ヲ圖ルモノトス

(ロ) 大運河、内河等水運ハ北、中支内河船ノ併存利用ニヨリ物資流動ノ

圓滑ヲ圖ル

(ハ) 連雲港ノ建設竝運營ハ鐵道ニ關聯シニノ(ニ)ニ準シ現狀ヲ基礎トシ華

北交通會社之ヲ行フ

(ニ)自動車運輸事業亦差當リ現状ヲ基礎トシ華北交通會社ノ一事業トシ

テ之ヲ運営ス

(ホ)通信モ現状ノ儘之ヲ繼續ス

六通 貨

徐海道地區ニ於テハ差當リ聯銀地帯ノ現状存續ヲ認メ以テ徐海道金融
形態ノ激變ヲ緩和スルト共ニ聯銀不安ニ基ク北支全般ノ動搖ヲ防止ス
淮北地區ハ差當リ現状ノ儘トス

三物 資

物資流動ハ之ヲ製貯セズ特ニ北支ノ需要（主トシテ農産物）ヲ考慮シ
之ヲ確保シ付特別ノ措置ヲ講ス